

災害対策樹立に関する調査

(平成26年梅雨期からの大雨等による被害状況及びその対応について)

[議事録 1/2]

- ・災害救助法適用に係る課題
- ・災害時の情報伝達の在り方

○吉川沙織君

民主党の吉川沙織でございます。

今年の梅雨期に入って以降、全国各地で災害が頻発している状況にあります。今回は実際に被災地を視察してまいりました四国徳島の台風被害を中心に質疑をさせていただきます。



台風11号においては、特に徳島県の阿南市と那賀町が大きな被害を受けましたが、同じような被害状況であるにもかかわらず、一方では災害救助法が適用となり、一方では適用となっていません。

徳島県の8月10日付けのウェブページを拝見しますと、「平成26年台風第11号により、多数の者が生命又は身体に危害を受けるおそれが生じたため、那賀町に徳島県は災害救助法の適用を決定した。」とあり、災害救助法施行令第1条第1項第4号が適用されたことが見て取れます。災害救助法の性格上、これは知事の判断ですが、阿南市も同様の被害を受けており、例えば次善の策として第1号基準の適用が考えられます。



実際、8月3日には高知県で1号基準が適用されていますが、阿南市は県内で2番目の人口を有しておりますがために、第1号基準を適用とするならば、これは一般的な例ですが、市町村合併によって人口規模が大きくなる、そうすると、1号基準はその区域内の人口に応じた形の被災件数で割り出すものですから、これは、今回のみならず、ほかの地域で災害が局所的に起こった場合、そこが市町村合併で見かけ上の人口が大きくなっている

とするならば、それで1号基準の適用が届かないということも考えられなくはないと思いますが、この市町村

合併に関する影響について内閣府の見解を伺います。

○政府参考人(日原洋文君)



お答えいたします。

災害救助法の適用基準につきまして、御指摘のように、合併による影響があるというのは御指摘のとおりだと思います。

ただ、救助法の考え方といたしましては、各市町村ごとの行政能力というんですか、そういうものを勘案しながら法律によって決められているところがございます、なかなか

その弾力的運用ということは困難であるかというふうに思います。

ただ、先生御指摘のとおり、第4号基準というのがございまして、多数の者が生命、身体に危害を受け、あるいは受けるおそれがある場合には知事の判断によって適用することが可能でございますので、私どもといたしましては、災害が発生した場合に、救助法のそういった規定を知らない場合がございますので、担当部局に直接電話をいたしまして、そういう規定があるのでその活用について検討してほしいということを毎回行っているところでございます。

○吉川沙織君

内閣府の、平成26年5月21日、平成26年度災害救助法等全国担当者会議の資料1の1を拝見いたし



ますと、今答弁がありましたとおり、第1号基準から第4号基準までであるが、第4号の具体例を示して、なるべく4号適用をするようにという、研修で今年まきにお示しになっておりますので、是非その4号基準というもの、いつ何ときどのような災害に見舞われるか分からない昨今ですから、場所によっては災害に遭っていない都道府県もあるかもしれません。

地方自治法第2条の精神に照らせば、同一県内で同じような被害が起こっているのに片方になって片方にならないというのは地方自治法の精神にも反することになるやもしれませんので、ここは国の助言、指導をしっかりしていただければと思います。

そして、この災害に関しましては、先ほどもやり取りございましたが、広島市に関しては総理御自身が被災地を訪れていただいて、早期の激甚災害の指定、明確に言及をされていますが、今回の徳島、財政力の弱い地方の2つの自治体が大きな被害を受けています。激甚災害がこちらについても早期に指定されるべきで

あると考えますが、担当大臣の御見解をお聞かせください。

○国務大臣(古屋圭司君)

激甚災害指定のことですよ。これは、総理が 25 日に視察したときに、こういうふうに表示しているんですね。12 号並びに 11 号及び今回の前線による一連の災害について作業を急ぐよという指示でございますので、ですから、12号、11号だけじゃなくて一連のを幅広く入れて作業を急げということでございますので、今関係省庁で災害に遭った状況を把握を急いでおりまして、この考え方に基ついて迅速かつ適切に指定をしていくというふうになるというふうに考えております。



○吉川沙織君



ありがとうございます。

では、ここからは災害時における情報伝達について、今ほどもやり取りありましたが、これについて具体例を示しながらお聞きしていきたいと思ひます。

台風 11 号では、床上浸水が徳島県内だけで数 100 世帯以上出ましたが、この台風 11 号による人的被害は免れました。それぞれの自治体で防災行政無線が機能したことと地域の避難の声掛けがあったからこそですが、防災行政無線の非常電源の在り方について伺いたひと思ひます。

今回被害を受けた自治体、実は今週も大雨による落雷で防災行政無線が故障してしまったから仕方ないんですけれども、こういった形、次の日には仮復旧はしていますけれども、防災行政無線、今回で人的被害を免れたのも、逃げろという声が届いたからこそこれは実現しています。非常電源の在り方、消防庁として把握されていますでしょうか。

○政府参考人(室田哲男君)

防災行政無線の非常電源の整備状況につきまして、網羅的な調査を行っておりませんが、市町村の整備計画によりますと、親局は自家発電、中継局及び屋外スピーカーはバッテリー、戸別受信機は乾電池等により整備を行っているところが通常ではないかと考えております。



○吉川沙織君



平成 25 年版消防白書 210 ページを見ますと、「消防庁では、災害時に重要な情報伝達を担う防災行政無線が確実に機能確保されるように」、非常用電源設備の整備を都道府県及び市町村に対して要請をしていると明記されています。

国として、明確にこうやって明記して要請されている以上、今答弁ございましたように、非常用電源が整備されているのが通常だとは思いますが、これは把握する努力というものをされてもいいかと思いますが、いかがでしょうか。

○政府参考人(室田哲男君)

防災行政無線の例えば強靱化の状況あるいは管理状況等につきまして、やはり委員御指摘のように、把握するという事は必要だというふうに考えておりますので、今後、非常用電源の状況も含めまして調査することを考えていきたいというふうに考えております。



○吉川沙織君

また、この住民避難、今、防災行政無線と地域の避難の声掛け、この 2 つを申し上げました。防災行政無線と同時に有用だったのが、今回の災害では戸別受信機です。例えば今回の広島のように、豪雨で防災行政無線の音がスピーカーから聞き取れない場合、もし家に戸別受信機があってそこから逃げろという声が届いたならば、ほかの災害でもこれは有用だと思っています。



このことに関しては、3 年前の当委員会並びに総務委員会で、消防防災災害復旧費補助金においては戸別受信機の購入について適用される旨、当時の消防庁長官から答弁をいただいておりますが、現在、戸別受信機等の整備、特に財政力の弱い地方自治体が整備をする際に恒常的な財源措置があるのかどうか、伺います。

○政府参考人(室田哲男君)

戸別受信機の整備に対します財源措置につきましては、防災行政無線の整備と一体となってこの受信機を整備する場合におきましては、緊急防災・減災事業債の対象として支援を行っているところでございます。

○吉川沙織君



先ほども、災害救助法のところで市町村合併の影響を申し上げました。この防災行政無線に関しても、市町村合併が行われる前の旧市町村に置き直した場合の整備率というのは、この国会で6年にわたって伺ってまいりました。

実際、今回大きな被害を受けた2つの自治体の、両方市町村合併が済んでいるところですが、片方においては、旧市町村単位の1つが、旧の単位で見ると防災行政無線が整備されておらず、緊急の放送を2回に分けるを得なかったということを現地で伺ってまいりました。実際これは、今回は避難は間に合いました。でも、一刻を争う、いとまがない場合、その猶予がない場合、2回に放送を分けることによって遅れた側の住民の避難が遅れないとも限りません。このことについて消防庁はいかがお考えですか。

○政府参考人(室田哲男君)

それぞれ別々の防災行政システムを整備済みのところが合併した場合には、この情報の伝達が遅れることのないよう、新たに統合卓というものを整備いたしまして、一度の操作で合併市町村全域に情報が伝達できるようになっているのが一般的であるというふうに認識しておりますが、委員御指摘のように、一部の元々整備をしていなかったところがまだ残っているということは我々も認識しておりますので、そこにつきましては、できるだけ早く整備が促進されますよう、我々もいたしましても緊急防災・減災事業債の対象にすることによりまして支援を行ってまいりたいというふうに考えております。



○吉川沙織君

今年の3月26日の当委員会でも市町村合併前の防災行政無線の整備率を改めて伺いましたが、70数%にとどまっているような状況にあります。災害の頻発に伴って、今まで災害には遭わなかったけれども、これからいつ何どき、どこでどのような災害があるか分かりません。だからこそ、国としてもっと進めていただければと思います。

続きの議事録(2/2)は、[こちら](#)です。